

住みたいまち大刀洗、  
住んでよかった大刀洗町。

大刀洗町社会福祉協議会

法人化20周年記念式典

20<sup>th</sup> Anniversary

3日24日(日) 大刀洗ドリームセンター

(開場)12:30~ (開演)13:00~

## ■ 記念講演

『ペコロスの母に会いに行く』から考える  
支えあって生きること

漫画家・シンガーソングライター  
岡野雄一 氏



©岡野雄一

- 社協法人化20周年記念式典のお誘い
- 平成24年度共同募金・歳末見舞金配分結果
- 地域福祉講座報告 ~不登校・引きこもりから考える地域~
- 笑顔キラキラ☆ほいくえんフォトギャラリー
- 大刀洗中学校福祉学習  
~ともに生きていく社会をめざして~
- ミニデイだより

みんな来てね!



# 大刀洗町社会福祉協議会 法人化20周年記念式典

# 20<sup>th Anniversary</sup>

## 3月24日(日) 大刀洗ドリームセンター 〈開場〉12:30～ 〈開演〉13:00～

大刀洗町社会福祉協議会はおかげさまで法人化20周年を迎えます。これまで支えていただいた皆様への感謝の気持ちと、これまで以上に地域のきずなを深め、新たな歩みへとつながるよう本記念式典を行います。皆様のご来場をお待ちしています。

### ● オープニング 13:00～

大堰保育園・本郷保育園の子ども達によるアトラクション。この日のために一生懸命練習しました。



### ● 記念講演 14:45～

『ペコロスの母に会いに行く』から考える  
支えあって生きること

漫画家・シンガーソングライター  
岡野雄一氏



### ● 記念式典 13:30～

特別表彰

### ● ふれあい広場《ロビー》

町内で活動するボランティア団体や福祉施設など7団体が大集合!! 独自の製品を出店します。おいしいコーヒーサービスもありますよ♪



### ● 思い出写真館《ホワイエ》

テーマは「笑顔」。社協が撮りためたたくさんの笑顔を一挙展示します!



主催／社会福祉法人大刀洗町社会福祉協議会  
後援／大刀洗町 西日本新聞社

**入場無料**

**定員600名**

手話通訳・託児あり(要予約)

# 平成24年度(平成25年度事業)共同募金B枠配分結果報告

配分額 3,009,600円

(単位:円)

	事業名	配分先	本年度配分額
1	独居老人味噌配布事業	大刀洗町連合婦人会	160,000
2	老人クラブ助成金	大刀洗町老人クラブ連合会	100,000
3	老人クラブスポーツ助成金	大刀洗町老人クラブ連合会	100,000
4	身体障害者福祉協会助成	大刀洗町身体障害者福祉協会	100,000
5	福祉教育読本配布事業	大刀洗町社会福祉協議会	15,000
6	保育園福祉推進事業	町内保育園	250,000
7	福祉協力校助成事業	町内小・中学校	250,000
8	ミニデイサービス事業	大刀洗町社会福祉協議会	1,234,600
9	社協だより配布	大刀洗町社会福祉協議会	650,000
10	車椅子バスケット大会支援	ひばりカップ運営委員会	50,000
11	母子寡婦福祉会助成事業	大刀洗町母子寡婦福祉会	70,000
12	障害児を抱える親の会支援	障害児を抱える親の会	30,000
合 計			3,009,600

## 平成24年度歳末見舞金配分結果

(単位:円)

見舞金配分先	人数	金額	合計
独居高齢者(平成24年4月1日現在70歳以上の非課税世帯)	146	3,000	438,000
在宅重度心身障害児	5	3,000	15,000
合 計	151		453,000

地域配分先	件数	金額
障害者当事者及び家族の会「語ろう会」活動支援	1	40,000
点訳ボランティア「凸凹の会」活動支援	1	20,000
「折り紙サロン」活動支援	1	20,000
子育て支援ボランティア「ちゃお <sup>2</sup> 」支援	1	20,000
「いきいき幸せ大刀洗」活動支援	1	30,000
手話サークル「ひばり」活動支援	1	20,000
施設ボランティア「折鶴の会」活動支援	1	15,000
「ナレーションサークル風」声の広報事業支援	1	10,000
「子と親 花花の会」活動支援	1	15,000
貸し出し用かき氷機購入	1	61,700
年末もちつき支援(各小学校)(平成25年度実施事業)	4	40,000
ボランティアセンター事業費(平成25年度実施事業)	1	35,000
合 計	15	326,700

### イベント機材無料で貸し出します

●わたがし機 ●ポップコーン機 ●かき氷機(手動)

今年度の歳末たすけあい募金で購入しましたかき氷機をはじめ、社会福祉協議会では各種イベントで活用できる機材を無料で貸し出しております。



#### 条件として

- ・地域で活動されている団体
- ・営利を目的としないこと(バザー等は利用可能です)

申込み・問合せは大刀洗町社会福祉協議会(77-4877)まで

# 地域福祉講座の報告

テーマ

## こころの声に よりそうために

不登校や引きこもりから  
考える地域

2月に各校区センターで開催した本講座には、NPO青少年教育支援センター（久留米市）の理事長である古賀勝彦氏を講師にお迎えし、不登校・引きこもりの現状や家族・地域の私たちにできることを話して頂きました。



最近増えていると言われる不登校・引きこもりの子どもたち。子どもの持つ本来の性格や家庭環境に加えて、その時々々の社会的な流行や価値観、子どもを取り巻く様々な環境（空気が）が大きく影響していて、今、子どもたちが様々なストレスからくる心の不安を抱えやすい時代に来ているそうです。

そのうえで、子どもたちに必要なことは「心の安定」だということ。子どもが学校に行きたくないと言ったときに、たいていの保護者が無理にでも行かせようとしますが、これは逆効果で、行きたくても体が行けない状態にあるとのこと。子どもが心の安定や自信を取り戻すことで人との信頼関係が生まれ、社会とのつながりができるのだそうです。ゆつくり焦らずに見守ることが必要だということを多くの事例を通して教えて頂きました。

また、子どもを取り巻く家族や地域に向けて、古賀先生より、「私たち一人一人が周りの「空気」を変えていく必要があります。「空気」とは言葉であり、まずは、家族の中で、地域の中で、挨拶をしたり相手の人格を認める言葉かけをしたりすることが大事です。そうすることでだんだん社会の「空気」が変わっていきます」と話されました。

ご家族の中には相談出来ない方も多くいらっしゃるようですが、ご家族には、必ず取戻しができるということ、一方で地域として、困ったときに寄り添える繋がりがあることが住みよい地域になるのではないのでしょうか。



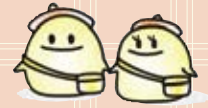
大刀洗町社協では、不登校や引きこもりでお悩みの方への相談会を実施しています。

● 日 時：毎月第2土曜日  
13時～17時（要予約）

● 相談員：NPO青少年教育支援センター  
理事長 古賀勝彦氏

● 問い合わせ先：大刀洗町社会福祉協議会  
77-4877

# 笑顔キラキラ★



## ほいくえん フォトギャラリー

春が来ました!  
いろいろな行事でがんばった子どもたち。  
1年分大きく成長しました。

おおせき  
1/16



「♪14日のもぐらうち のぎだれ  
こきだれ うちまわせ〜♪」

おおせき  
1/30



発表会がんばりました!  
「うんとこしょ。どっこいしょ〜☆」



本郷小体験入学  
釣れたかな?釣れるかな?

ほんごう  
2/8

おおせき  
2/13



愛情をこめて育てたブロッコリー!!  
こんなに大きくなったよ〜!



クッキング  
うーん。よいしょ!かたいよー

ほんごう  
2/20



本郷小体験入学  
ちゃんとできるかな〜?

ほんごう  
2/8

おおせき  
2/18



自習の先生とたくさん遊んだよ♪



おおせき  
2/19



「うあ〜、おにだ〜!!」  
「鬼は外、福は内!」

ほんごう  
2/20



クッキング  
ねこの手ねこの手ちゃんとできるよ♪

ほんごう  
2/25



じゃが芋苗植え  
やさしく、土のお布団かけよ〜っ!

園児の様子は社協ホームページからもご覧になれます♪

大刀洗町社協 保育園ブログ

検索

## 大刀洗中学校福祉学習



大刀洗中学校1年生が「ともに生きていく社会をめざして」総合学習を行い、聴覚障がい、視覚障がい、身体障がいの方からそれぞれお話を聞き学習しました。

聴覚障がいの方からは、当事者おふたりと手話通訳を講師に、「情報が得にくい」「見た目でわからない」など「聞こえない障がい」について体験談を聴きました。

後半は、クイズや手話うたなど、講師とのコミュニケーションを通して手話を学びました。

視覚障がいの方からは、見えない人の生活から点字の必要性を学びました。自分の名前を点字で書くという体験では、「点字＝文字＝情報。速いより、ていねい・正確が大事、これからも何かの機会に点字を学んで」との話がありました。

身体障がいの方からは、当事者の立場として「こんな社会になったらいいな」ということを話していただきました。「障がいとは“天からの贈り物”。障がいがあったからこそ、皆に会えて交流することができた。大変なこともあるけど、少し手を貸してほしい」というメッセージがありました。

町内におられる当事者の方との交流を通して、それぞれの障がいを身近に感じ、手話や点字など障がいを支えるものや障がいへの理解を深めるきっかけになったのではないのでしょうか。



## ミニデイだより

今年度、各地区1回、古賀富美子先生を招いて行ったボール体操。楽しみながら認知症予防に、運動能力アップになるそうです。



甲条

高樋



守部

### \*あとかき\*

先日、障がい者関係の情報誌にこんな記事がありました。今、iPadなどのタブレット端末が障がいを持った子どもたちの学習に活用されているそうです。薄くて・軽くて・タッチ操作で使えるため、最小限の動きで学習したり、ゲームを楽しみながら手指の訓練になったり、音声を文字化して筆記を補ったり、インターネットで調べたり…。その結果、子どもたちの学習意欲が増しているとのこと。情報機器の進化がこんなふうに人を助けているのかと目からウロコな私でした。☺

